

水島港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

令和6年3月

水島港港湾管理者

岡山県

目 次

1	変更理由	1
2	港湾施設の規模及び配置に関する資料	2
2-1	専用埠頭計画	2
3	その他資料	3
3-1	環境の保全に関する資料	3
3-2	岡山県地方港湾審議会名簿	5

1 変更理由

立地企業の要請に対応するため、水島地区において専用埠頭計画を変更する。

2 港湾施設の規模及び配置に関する資料

2-1 専用埠頭計画

(1) 専用埠頭計画の変更の必要性

公共事業の実施に伴い使用できなくなる民間所有ドルフィン機能の確保するため、専用埠頭計画を新たに追加する。

(2) 専用埠頭計画の規模及び配置

ドルフィンの規模及び配置は、表2-1-1及び図2-1-1のとおりである。

表2-1-1 専用埠頭計画の規模（新規計画）

地区名	施設	施設諸元	備考
水島地区	ドルフィン	水深5m 1バース	新規計画

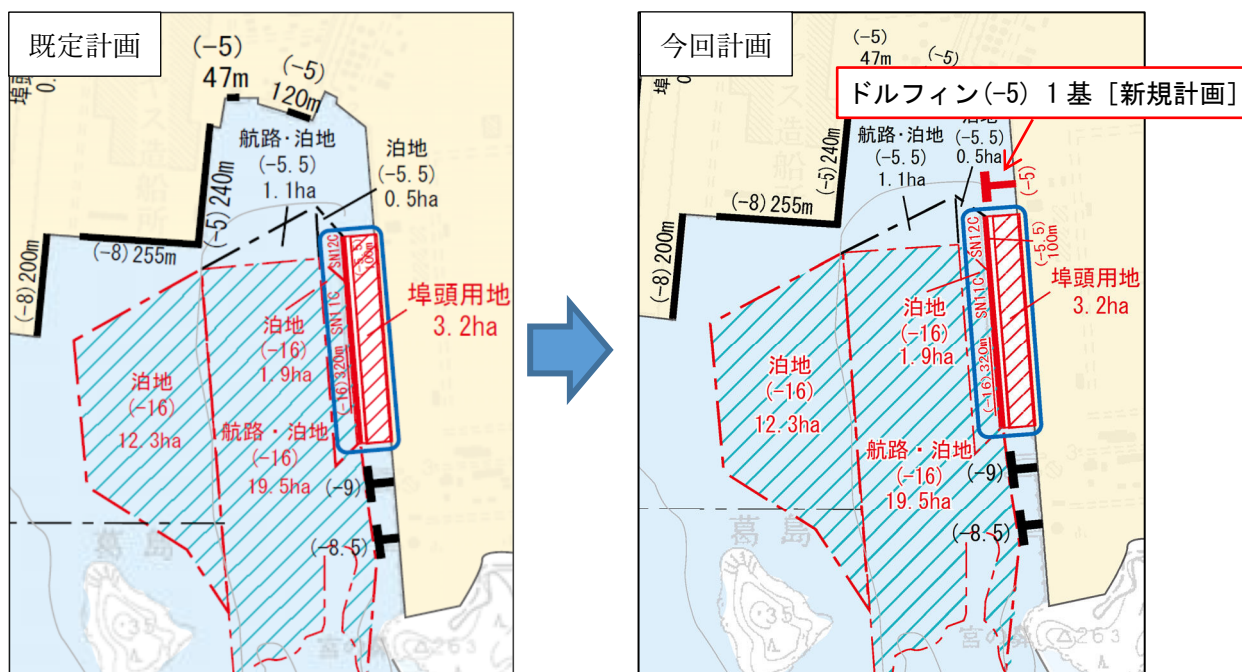


図2-1-1 専用埠頭計画の規模及び配置

3 その他資料

3-1 環境の保全に関する資料

(1) 基本方針

今回計画が周辺環境に与える影響と評価は、以下に示すとおり選定項目ごとに予測・評価を実施した。

1) 項目の選定

項目の選定については、表3-1-1に示すとおりである。

表3-1-1 項目の選定

環境要素の区分		項目	選定理由等
水環境	水質	水の汚れ	今回計画の内容により選定した。
生物	生物	海生生物	
		鳥類	
	生態系	生態系	

2) 予測及び評価の考え方

予測及び評価の考え方については、表3-1-2に示すとおりである。

表3-1-2 予測及び評価の考え方

環境要素の区分		予測	評価
水環境	水質	今回計画に定められる事項による環境への影響を考慮し、定性的に予測した。	今回計画により周辺環境へ著しい影響を及ぼさないこと。
生物	生物		
	生態系		

(2) 環境への影響と評価

1) 水質への影響と評価

本計画変更に伴い、ドルフィン前面の水域を浚渫することにより、海底の一部を改変することになる。そのため、潮流の変化による水質の変化が考えられるが、港内全体から見た改変の範囲はわずかであり、潮流の変化に大きな影響を及ぼすことは考えられないことから、水質に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

2) 生物への影響と評価

本計画変更に伴う水質への影響が軽微であると予測されることから、今回計画が海生生物に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

鳥類については、本計画変更に伴い直接的に鳥類の生息域を改変するものでなく、騒音等による生育環境の悪化も軽微であると予測されることから、今回計画が鳥類に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

3) 生態系への影響と評価

本計画変更に伴う生物への影響が軽微であると予測されることから、今回計画が生態系に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

(3) 総合評価

今回計画が周辺環境に与える影響について評価を行った結果、本計画変更に伴う周辺環境への影響は軽微であると考えられる。

なお、今回計画の実施にあたっては、工法、工期等について十分に検討し、十分な監視のもとに環境に与える影響を小さくするよう配慮し、慎重に実施するものとする。

3-2 岡山県地方港湾審議会水島港部会委員名簿

岡山県地方港湾審議会水島港部会委員名簿

令和6年1月現在（敬称略、順不同）

1 学識経験を有する者

井上 欣三	国立大学法人 神戸大学 名誉教授
嶋 一徹	国立大学法人 岡山大学 教授
岸本 都志子	建築士

2 港湾関係者

國屋 利明	岡山県漁業協同組合連合会 会長
田邊 学	岡山地区旅客船協会 会長
酒井 忠之	中国地方港運協会 副会長
久本 久治	岡山県船主協議会 理事長
除補 修	全日本海員組合尾道支部 支部長

3 市町村を代表する者

伊東 香織	倉敷市長
-------	------

4 県議会の議員

加藤 浩久	岡山県議会議員
吉田 徹	岡山県議会議員

5 関係行政機関の職員


増田 直樹	財務省 神戸税関 水島税関支署長
中崎 剛	国土交通省 中国地方整備局長
伊藤 雄造	国土交通省 中国運輸局 岡山運輸支局長
田添 太志	海上保安庁 第六管区海上保安本部 水島海上保安部 部長

地方港湾審議会の答申

岡地港第4号
令和6年3月6日

水島港港湾管理者 岡山県
代表者 岡山県知事 伊原木 隆太 様

岡山県地方港湾審議会
会長 嶋 徹



水島港港湾計画（軽易な変更）について（答申）

このことについて、当審議会において審議した結果を下記のとおり報告する。

記

原案は適当である。